

日本医学会連合領域横断的連携活動事業（TEAM 事業）

「いつまでも健康で美味しく食べる」ための、多学会連携による嚥下障害対策の普及活動
（事業実施期間：2024 年、2025 年度）

「いつまでも健康で美味しく食べる」ための、多学会連携による
嚥下障害対策に関する共同宣言（2026 年 6 月 18 日）

代表学会：

臨床外科学会 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会、

参加学会：

基礎部会 日本栄養・食糧学会

社会部会 日本公衆衛生学会

臨床内科部会 日本老年医学会、日本呼吸器学会、日本神経学会

臨床外科学会 日本リハビリテーション医学会、日本栄養治療学会、日本気管食道科学会

その他 日本言語聴覚士協会、日本嚥下医学会、日本摂食嚥下リハビリテーション学会

宣言 1 加齢や疾患に伴う嚥下障害について、市民に正しく理解してもらえるような社会に向けた取り組みを通じ、高齢者が豊かに生活できる共生社会作りを目指します。

宣言 2 加齢や疾患に伴う嚥下障害に対して、多職種連携による質の高い予防的介入を社会全体で実現できる体制整備に取り組むとともに、地域で暮らす人々とそれを支える医療・介護従事者の双方に向けた啓発活動を強化します。

宣言 3 加齢や疾患に伴う嚥下機能の低下の症状を早期に発見し介入することによって、高齢者の誤嚥性肺炎や窒息のリスクを軽減することが出来ます。そのために、多くの地域社会や介護の現場で有効活用できる嚥下機能の評価が可能なスクリーニング方法の開発を目指します。

宣言 4 今後は、嚥下機能の低下を簡便に検知する新規検査法の開発や、誤嚥防止の新規デバイスや薬物治療など健康な嚥下機能を守るためのさらなる新規知見の獲得に努めます。